

第2学期 スタート！！

第2学期がスタートしました。長い夏休みが終わり、子どもたちはたくさん
の宿題を抱えて、登校してきました。明るく元気な声が校舎内に響い
ています。



校歌も大きな声で心をこめて、歌いました。代表児童による2学期の目
標も堂々と発表することができ立派でした。詳細は、学校だより9月号に
掲載しています。



校長先生の話は、夏休みに「感動」した話と、
2学期にがんばっていく2つのことについて話が
ありました。



第2学期始業式式辞

常総市立大花羽小学校長 蛭原 浩一

みなさん、おはようございます。心に残る楽しい思い出がたくさんできたことと思います。

校長先生の夏休みの思い出は、阪神甲子園球場で行われた、「第100回 全国高等学校野球選手権大会」です。テレビでの観戦となりましたが、どの選手も最後まで諦めないでプレーする姿に感動しました。感動と言えば、「24時間テレビ」で161.55kmのトライアスロンに挑戦したみやぞんです。体を痛めて体力も気力も失われ、何度も諦めようとしたが、たくさんの声援や一緒に協力してくれた仲間たちの言葉を信じ、必死に走ったと言います。さらに、「どんなときでも楽しく笑顔で」を心情にトライアスロンを楽しんだと語り、その後何度も「楽しかったです」と語る姿に「勇気や感動」をもらいました。

いよいよ今日から2学期がスタートします。今日は2つ、みなさんにお話しします。

1つ目は、1学期に3名の「あいさつ名人」が誕生しましたが、2学期はもっともっとたくさんの「あいさつ名人」をみんなの力で見つけていくことです。校長室前に用紙を置いておきますので、「この人のあいさつ、すごい！」という人がいたら、名前を書いてボックスに入れてください。

ただし、ただ声が大きいだけでは、「あいさつ名人」にはなれません。誰にでも「元気や勇気」をくれる心のもったあいさつができる人です。そして、あいさつだけでなく、どんなことにも一生懸命がんばり、誰にでもやさしくできる人という意味もこめられています。

2つ目は、2学期のスタートにあたって、みなさんに絶対に守ってほしいことを話します。

それは、「いじめはぜったいだめ！」
ということです。大花羽小の子どもたち
困っている人がいると、やさしく声を
かけて、助けてあげることができる人が
たくさんいます。校長先生は、大花羽小



とは、
かたに

は「いじめ」はないものと信じています。しかし、今までに人の悪口やいやなことを言ったり、言われたりした経験や、仲間はずれにしたり、されたりした経験がある人がいるかもしれません。自分自身がされていやなことを誰かにすることがいじめなのです。そして、いじめを見て見ぬふりをすることやいじめを見ておもしろがったりすることもいじめなのです。

「自分がされていやなことは、絶対にしない・言わない」ということを約束してください。みなさん、約束してくださいね。

それでは、「あいさつ名人」になること「人にやさしい心」をもつこと、
2学期を力いっぱいがんばりましょう。

2学期が始まり、子どもたちの元気な声と明るい笑顔が学校に戻ってきました。夏休み中は、ご家庭の皆様、地域の皆様のお支えをいただき、ありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。